



## 平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 (株)オンリー

コード番号 3376 URL <http://www.only.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中西浩一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理グループ本部長 (氏名) 栢木秀樹

TEL 075-354-4129

四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	3,497	△2.5	369	△15.4	472	△2.9	294	4.4
27年8月期第2四半期	3,585	△2.0	437	△10.7	486	△3.8	282	△4.5

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 293百万円 (3.7%) 27年8月期第2四半期 283百万円 (△4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年8月期第2四半期	61.12	—
27年8月期第2四半期	58.53	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
28年8月期第2四半期	7,794	—	5,547	—	71.2	1,150.53
27年8月期	7,690	—	5,350	—	69.6	1,109.68

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 5,547百万円 27年8月期 5,350百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	6,800	△4.6	580	△25.6	750	△12.7	465	△0.0	96.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年8月期2Q	5,972,000 株	27年8月期	5,972,000 株
28年8月期2Q	1,150,049 株	27年8月期	1,150,000 株
28年8月期2Q	4,821,951 株	27年8月期2Q	4,822,000 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国等の海外経済減速の影響による景況感の下押しがみられるとともに、先行きについても、海外経済の低迷が続く中で在庫調整が長引く懸念等から、不安定な状況となっております。

一方、紳士服市場におきましては、少子高齢化等によりスーツ着用人口が全体的に減少していることに加えて、個人消費低迷の影響や企業間の価格競争激化等により、全般的には依然として厳しい環境が続いております。

こうした状況の中で、当社グループは、「笑顔」、「感謝」、「清掃・整頓」を行動理念に掲げ、顧客満足の最大化を目指して、以下のとおり取り組んでまいりました。

商品面での新しい取組としては、高価格オーダースーツの需要が増加してきていることから、従来のオーダースーツ「テーラーメイド」よりも高い価格帯の生地（プレミアムファブリック）を用いたオーダースーツの販売を「オンリープレミアムキョート」及び「オンリープレミアム」店舗において開始いたしました。プレミアムファブリックについては、一着分の生地を巻き板に巻いて並べて店頭にて陳列することでオーダーサロンの雰囲気演出する効果もあり、新しい顧客層の開拓にもつながっております。

販売店舗については、京都市下京区に新築した自社ビルの1・2階に、店舗面積600㎡超の旗艦店「オンリープレミアムキョート」を平成27年10月にオープンいたしました。1階は上質なビジネススーツや、冠婚葬祭及びドレスアップシーンでの着回しが可能なドレスコレクション、オンオフで切り替え可能なインポートのセミドレスアイテムまでとりそろえたトータルメンズウェアショップとし、2階は約2,000種類ものオーダースーツ生地（プレミアムファブリック）を陳列する国内最大級となるオーダーサロンとしており、ブランド発信の拠点として、PR活動を積極的に行いました。また、販売店舗数については、「オンリー（オンリープレミアムキョート/オンリープレミアムを含む）」は2店舗出店して22店舗、「ザ・スーパースーツストア」は増減無しの24店舗、アウトレット販売等を行う「スーツアンドスーツ」は2店舗閉店して20店舗、ウィメンズスーツ専門店「シーラブズスーツ」は増減無しの1店舗となり、グループ合計で67店舗となりました（前期末比増減無し、前年同期末比2店舗減）。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34億97百万円（前年同期比2.5%減）となりました。既存店売上前年比は100.4%となりましたが、対前年同期比では5店舗退店して3店舗出店となっており、退店店舗の前期売上規模が比較的大きかったことが減収要因となっております。また、アイテム別では、秋冬商品の実需期である11月及び12月の気温が平年よりも高く推移したことによりコート類の売上が低迷し、スーツの販売価格の引き上げによりスーツ販売数量も減少いたしました。

次に、販売費及び一般管理費については、旗艦店の出店や前期に実施した「オンリー」業態への改装に伴う設備投資により減価償却費等が増加いたしました。店舗数減により地代家賃が減少したこと等により、18億41百万円（同0.9%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益は3億69百万円（同15.4%減）、経常利益は4億72百万円（同2.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億94百万円（同4.4%増）となりました。

なお、当社グループは紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加し、77億94百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ98百万円増加して28億40百万円となりました。主な変動要因は、売掛金が68百万円、商品及び製品が87百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し、49億54百万円となりました。主な変動要因は、新店出店に伴う設備投資により有形固定資産が31百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、22億46百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、14億35百万円となりました。主な変動要因は、その他流動負債が1億59百万円減少した一方で、短期借入金が増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億41百万円減少し、8億10百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億97百万円増加し、55億47百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を2億94百万円計上した一方で、前期の期末配当96百万円を実施したことにより、利益剰余金が1億98百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前述のとおり、平成28年8月期の第2四半期の業績につきましては、暖冬の影響によりコート類の売上が低迷したことや、スーツの販売価格の引き上げによりスーツ販売数量が減少したこと等により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、期首発表値を下回ることとなりました。

通期の業績につきましては、当初予定していなかった退店が生じることや、当期の新店売上が当初予定を下回って推移していること、引き続きスーツ販売価格引き上げの影響が見込まれております。

また、来期以降の業績回復を目的として、当期から本格的に展開したものの売上げが当初予定よりを下回っている新商品ラインの在庫調整を行い、商品ラインの再構築を実施したり、PR・販促施策を強化することを計画しております。

これらのことから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想値につきましては、平成28年4月12日に公表しておりますとおり、期首発表値を修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	736,347	753,730
売掛金	270,098	338,356
商品及び製品	1,315,808	1,403,326
仕掛品	4,956	5,475
原材料及び貯蔵品	202,080	212,316
繰延税金資産	91,992	103,282
その他	120,054	23,686
流動資産合計	2,741,338	2,840,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,657,522	1,741,466
減価償却累計額	△583,263	△643,066
建物及び構築物(純額)	1,074,258	1,098,399
工具、器具及び備品	594,232	654,689
減価償却累計額	△361,456	△412,109
工具、器具及び備品(純額)	232,775	242,579
土地	791,144	791,144
建設仮勘定	1,104	184
その他	15,203	15,203
減価償却累計額	△8,991	△10,021
その他(純額)	6,212	5,182
有形固定資産合計	2,105,495	2,137,491
無形固定資産		
投資その他の資産	49,759	58,999
繰延税金資産	80,644	73,861
差入保証金	912,344	902,478
投資不動産	1,783,093	1,783,093
減価償却累計額	△5,221	△20,721
投資不動産(純額)	1,777,872	1,762,372
その他	33,298	29,240
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	2,794,160	2,757,952
固定資産合計	4,949,415	4,954,442
資産合計	7,690,753	7,794,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205,202	185,416
短期借入金	100,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	263,988	263,988
未払法人税等	130,449	152,480
ポイント引当金	63,010	54,873
資産除去債務	7,081	16,937
その他	617,581	462,206
流動負債合計	1,387,313	1,435,902
固定負債		
長期借入金	488,027	356,033
長期未払金	139,121	139,121
退職給付に係る負債	63,270	66,125
資産除去債務	181,205	168,613
その他	81,000	81,000
固定負債合計	952,625	810,893
負債合計	2,339,938	2,246,796
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,079,850	1,079,850
資本剰余金	1,186,500	1,186,500
利益剰余金	3,498,817	3,697,118
自己株式	△414,051	△414,051
株主資本合計	5,351,115	5,549,416
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△300	△1,595
その他の包括利益累計額合計	△300	△1,595
純資産合計	5,350,814	5,547,820
負債純資産合計	7,690,753	7,794,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	3,585,624	3,497,424
売上原価	1,289,669	1,285,950
売上総利益	2,295,954	2,211,474
販売費及び一般管理費	1,858,868	1,841,844
営業利益	437,086	369,629
営業外収益		
受取利息	20	26
受取手数料	8,545	7,229
協賛金収入	22,044	28,815
保険返戻金	23,247	—
受取賃貸料	—	87,000
雑収入	673	1,829
営業外収益合計	54,532	124,901
営業外費用		
支払利息	3,331	3,301
賃貸収入原価	—	17,015
雑損失	1,594	1,453
営業外費用合計	4,926	21,770
経常利益	486,692	472,760
特別損失		
固定資産除却損	10,023	—
減損損失	16,596	11,046
特別損失合計	26,619	11,046
税金等調整前四半期純利益	460,072	461,714
法人税、住民税及び事業税	176,109	170,845
法人税等調整額	1,735	△3,870
法人税等合計	177,845	166,974
四半期純利益	282,227	294,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,227	294,740



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
四半期純利益	282,227	294,740
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	823	△1,294
その他の包括利益合計	823	△1,294
四半期包括利益	283,050	293,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,050	293,445
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	460,072	461,714
減価償却費	120,208	160,136
減損損失	16,596	11,046
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△8,328	△8,137
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,676	2,854
受取利息及び受取配当金	△20	△26
受取賃貸料	—	△87,000
支払利息	3,331	3,301
為替差損益 (△は益)	0	1,896
固定資産除却損	10,023	—
保険戻戻金	△23,247	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△70,018	△68,258
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△85,810	△98,272
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,471	△19,785
前受金の増減額 (△は減少)	37,763	30,558
その他	35,960	45,973
小計	495,736	436,000
利息及び配当金の受取額	16	21
利息の支払額	△3,444	△3,949
法人税等の支払額	△211,059	△140,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	281,248	291,116
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△529,891	△365,353
長期前払費用の取得による支出	△4,122	△504
差入保証金の差入による支出	△27,060	△3,780
差入保証金の回収による収入	40,754	53,414
投資不動産の賃貸による収入	—	88,080
保険積立金の払戻による収入	66,480	—
その他	△19,906	△16,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△473,746	△244,233
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△128,661	△131,994
配当金の支払額	△115,479	△95,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,140	△27,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1,896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△236,639	17,382
現金及び現金同等物の期首残高	1,395,510	736,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,158,870	753,730

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。